



しののめ

平成26年5月14日発行

「心を一つにした学級づくりを」



校長

山内 賢一

273名の新入生を迎え、合計828名で東中学校の平成26年度がスタートし、はや1ヶ月がたちました。新入生の皆さんは、東中学校での生活に慣れてきましたか。学習面や部活動など、小学校での生活とは違った事も多く、戸惑うことも多かったのではなかったかと思います。また、2、3年生の皆さんは、新しい学級・学年のスタートをうまく始めることができましたか。どの学級も担任の先生を中心に、組織づくりから始まり新たな生活や学習へと順調に進んできている頃ではないかと思います。ゴールデンウィークも終わり、新年度の疲れも少しはとれたと思いますが、ここでもう一度、4月最初の新鮮な



気持ち思い出してみてください。初心を忘れてはいませんか。各学級の一人一人が、大切な仲間として、心を一つにし、相手を思いやる気持ちを忘れず、よりよい学級をつくっていく中で皆さん自身がさらなる飛躍をすることを期待しています。

学校全体としては、年度当初の学校公開や各学年の懇談会、説明会およびPTA総会も無事に終了することができました。ご協力に感謝いたします。今後とも、保護者や地域の皆様からの、学校に対する温かなお気

持ちを賜りますと共に、子どもたちが健やかに成長できますよう本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



東雲日記

南館昇降口には、毎週のように素敵なお花が生けられる。本校HPでもご紹介したが、市内在住の方が、子どもたちの心の成長を願って生け続けているらしい▼東大道町在住、吉田慶子さん。朝練習の子どもたちの登校が始まる頃、小型バイクの荷台にたくさんのお花をさしながら、颯爽と正門を通られる。お声をかけようと昇降口へと足を運ぶと、生け花が始まっている。手慣れたものだ▼県内の中学生の痛ましい事件をきっかけに、尾張旭市子どもたちの心を少しでも和ませるために：と学区の中学校で始められた生け花のボランティア、もう二十年近くになるそう。本校でもお世話になるようになって、かれこれ十年以上になるとのこと▼子どもたちも職員も、そんな方がいらっしやるとは：でも、素敵なお花の存在は、みんな知っている。誰が生けてくれたんだろう？声が聞こえてきそう。 (奈)

このお便りは、生徒のみなさんと保護者の方々に向けて発行しています。

